



やまがたアルカディア観光局

制作チームの皆様

機織り体験の取材で
マコ来館!

八月二十五日(水)、やまがたアルカディア観光局制作チームの皆様が、置賜地域の「アクティビティマップ」掲載用の取材に訪れました。

青芋工房の川合ひさ子先生ご指導のもと、実際に機織り機を使つての体験や、出来上がった作品の見学等、皆様とても熱心な様子で、取材とともに充実した時間を過ごされていきました。



夕鶴の里資料館報
令和3年9月10日
第 129号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800



先生と和やかな雰囲気の中での機織り体験となりました。

手作りコースターに挑戦!

写友会

フォトギャラリー



七月より夕鶴の里語り部の館の玄関に設置されている、南陽写友会フォトギャラリーの、写真の展示替えが行われました。

八月は、爽やかで涼しげな写真が多く展示され、猛暑が続く中、来館者の多くの皆様足を止め、楽しまれている様子でした。

九月は、珍藏寺や熊野大社の美しい紅葉等、秋の深みを感じる写真が展示中です。

また、フォトギャラリーに『御芳名簿』が設置されました。写真をご覧いただいた後、お名前ご感想等ご記入いただければと思います。

ご来館の際は、是非お楽しみ下さい。



御芳名簿が設置されました。



玄関に入ると秋を感じる写真が展示されています!



夕鶴の里企画展

～ 願いと祈りの

民間信仰展 ～

八月三日(火)より、資料館三階で「願いと祈りの民間信仰展」を開催しております。民間信仰は日本人の日々の生活の中で生まれました。現代のように医学や科学が発展していなかった時代は、人々の努力では及ばないことが起これば、神仏にお願いするしかありませんでした。そのような時代に南陽市の人々はどうのようないことを願い、祈り、信仰してきたのか展示を通してご覧ください。



※観覧にあたっては、市のガイドラインに基づいた感染症対策へのご協力をお願い致します。

展示の見どころ①

古い方の写真は昭和7年8月に曾利橋が完成した時に撮られた「渡り初め」の様子です。橋が長きにわたって壊れることがないことを願って神主様が橋を清めながら渡り、続いて参列者が渡っています。曾利橋は織機川に架かる漆山村と沖郷村を結ぶ橋で現在も使用されています。



曾利橋落成記念写真(昭和7年)



現在の曾利橋

展示の見どころ②

地蔵菩薩は、インドでは豊穰をもたらす福德の菩薩でした。左手には「如意宝珠」と呼ばれる衆生(全ての生命)の願いを叶える魔法の宝石を持っています。地藏信仰は「夜泣き」や「イボ抜き」など実利に結びついたものが多く身近な信仰対象でした。



左手に宝珠を持つ



木造地蔵菩薩坐像

お知らせ

夕鶴の里友の会

第十八回民話の「語り駅伝」

※会員のみの開催となります

日時：九月二十六日(日)

午後一時三十分～

午後三時三十分

場所：夕鶴の里語り部ホール

定員：出演者を含めて五十名

申込み先：夕鶴の里事務局

TEL：四七-五八〇〇

締切：九月十二日(日)

(定員になり次第、締切となります)



昔のあそび



まゆ玉でコサージュをつくろう!

日時：9月25日(土) 午前10時～

場所：夕鶴の里

参加料：無料

定員：10名(電話予約必要)

申込・お問合せ：夕鶴の里(☎47-5800)